

平成29年度 第3回 学校協議会の報告

平成30年1月31日（水）16時より、平成30年度第3回学校協議会を開催しました。始めに校長が挨拶し、続いて事務局から次の4点について報告と説明を行いました。

- ① 平成29年度学校経営計画および学校評価について
- ② 平成30年度学校経営計画および学校評価について
- ③ 平成29年度学校教育自己診断について
- ④ 平成29年度授業アンケート（第2回）について

これらの報告に対して委員を中心に協議に入り、委員の皆様から以下のご提言やご意見をいただきました。

○ 平成30年度の学校経営計画について

- ・ 「グローバル市民」の文言からは、「グローバル社会の構成員」という広い意味に捉えることもできるが、「グローバル人材」や「グローバルリーダー」に検討してみてよいのではないか。
- ・ 7月開催予定のワールドフォーラムの対象である地域には広報はどのようにする予定なのか。

○ 学校教育自己診断について

- ・ 教員が授業改善に積極的に取り組んだ結果として、授業に対する評価の数値が高くなっている。
- ・ いじめに対してなかなか言えない子どもがいた場合に備えて、周りから管理や監督をしていってほしい。
- ・ 夕陽丘高校全体の風通しが良くなったと感じている。生徒も明るくまとまっており、いじめが起きにくい環境なのではないか。

○ 校則について

- ・ 入学当初から保護者も交えた場で校則を説明してくれているので、生徒も理解はできている
- ・ 現状の校則については、一定の理解を得られている。
- ・ 自主・自律の観点から自らの成長を促すような指導も有効である。
- ・

○ 校務による教員への負担について

- ・ ストレスチェックの結果が改善されたとあるが、具体的にどのような取り組みをされているのか。
- ・ 企業でもしているが、職員一同で意見を出し合うなど、ストレスの内容や種類を把握、解明し、具体的な解決策を探る機会を持つとよいのではないか。

以上のご提言やご意見に対して、事務局からは以下の回答や発言がありました。

- グローバル市民という文言は、グローバル社会の構成員として様々な場面で活躍できる生徒という意味で付けている。今回の意見も合わせて再検討し、「グローバル人材の育成」としたい。
- 今年度、大阪府全体の取組として、いじめのアンケートを任意の提出から全員提出に変えることで、見えにくかった中学等でのいじめ等が明らかになるケースがあった。人権推進委員会と担任が連携し、一人一人の生徒の話を聴くことで、安心して学ぶことができることを確認する良い取組となった。
- 業務軽減として、日番の撤廃や会議回数、クラブ付添、模試の監督等の休日業務の削減に取り組んでいる。今後も事務の経営参画や公文書の雛形の作成等によって、教員の負担を軽減していきたい。ストレスの把握には、先輩教員からのアプローチが有効と感じており、今後もできることから積極的に行っていきたい。

協議の後、校長より事務連絡として、学校運営協議会の設置についての説明を行いました。その後、初任育成担当の首席と3名の初任者から来年度の抱負と挨拶をもって閉会としました。

平成29年度 第2回 学校協議会の報告

平成29年10月18日(火)14時50分より、平成29年度第2回学校協議会を開催しました。協議会開始に先立ち、各学年授業参観を実施いたしました。その後、校長室にて協議会を開催、校長より挨拶と委員紹介および事務局紹介を行い、続いて次の3点について校長および事務局から報告と説明がありました。

- ① 夕陽学（総合的な学習の時間）での情報科の実践例
- ② 平成29年度 授業アンケート（前期）結果について
- ③ 平成29年度 学校経営計画の進捗状況

これらの報告に対して協議に入り、委員の皆様から以下のような提言やご意見をいただきました。

○ 授業参観について。

- ・ 電子黒板の活用は図やグラフの提示（数学）、教材に音を入れる（英語）等効果的の活用がなされており、生徒が積極的に授業参加しており、理解しやすく非常に有効だと感じた。今後パソコンやスライドから離れられないことは避けるよう留意する。

○ 夕陽学（総合的な学習）についての取り組みについて

- ・ 「他者への伝え方」、「伝える力」を考えることができ、等将来役立つスキルを身に付けられる。
- ・ 夕陽生の興味、関心の高さが感じられた。将来を見据えて自分たちに必要なスキルを磨きたいという意識が高いと感じた。中学校では実施するのは難しいと感じる。
- ・ 研究発表前の生徒の「決意表明」が面白い。気持ちが引き締まる。
- ・ この取り組みによって自分の学校に愛着が持てる。

○ 授業アンケート結果について

- ・ アンケート全科目共通項目 5 「視聴覚教材を使用する場面がある」の質問内容を改善してはどうか。「視聴覚教材」→「ICT教材」への変更提案があった。

○ その他

- ・ 様々な取り組みの中でグループでのプレゼン発表が多く用いられているが、グループ編成に際し、生徒にやらされている感はないか、目的意識はあるのかが気になる場所である。
- ・ 生徒は将来社会に出て役立つスキルが身に付けられると感じているのではないか。
- ・ 男子生徒が少ないが、受験生（男子）が現役の男子生徒の学校生活を気にしている（不便なことはないか）
- ・ 環境整備で掲示物が廊下に関してはにぎやかでまとまりがあり、生徒のニーズに合う掲示が揃っている。教室では非常にシンプルで勉強に集中できる環境である。

以上の提言やご意見に対して事務局からは以下のような発言がありました。

- アンケート全科目共通項目 5 「視聴覚教材を使用する場面がある」の質問内容を「ICT教材」等への変更に向けて検討する。
- プレゼングループの編成については、プレゼンが得意な生徒を各グループ1人は入れて編成している。
- 夕陽丘高校は男女関係なく互いに成長し合える学校であり、環境も整っており、部活動にも積極的に男女比の問題は学校運営上大きな問題ではない。

最後に座長の木原先生より夕陽生の興味、関心の高さとして将来の自分たちに役立つスキルを磨きたいという意識が高く、夕陽学がより意味を持つものになっているという話をまとめとして閉会となりました。

平成29年度 第1回 学校協議会の報告

平成29年5月23日(火)16時より、平成29年度第1回学校協議会を開催しました。校長の挨拶に続き、委員紹介・事務局紹介を行い、次の3点について事務局から報告・説明をしました。

- ① 平成28年度学校評価と平成29年度学校経営計画について
- ② 平成29年度授業アンケートについて
- ③ 進路実績報告

これらの報告に対して委員長を中心に協議に入り、皆様から以下のご提言やご意見をいただきました。

○ 校内の学校説明会について

- ・ 中学生の保護者にとって、私立を含めて進学先を検討する1月に学校説明会があるとありがたい。

○ カリキュラムマネジメントについて(教員の仕事の進め方)

- ・ 様々な取組に夢があって良い。職員に多忙感やストレスはないですか。
- ・ 教科間・分掌間の連携を大切にしてほしい。
- ・ 教科の指導内容の「見える化」については是非されるとよい。さらに、データを出し合うだけでなく、出し合ったデータを積極的に使うことを意識してほしい。来年度以降プラン化できるといい。

○ ICTの活用について

- ・ 教員がうまく使えるようになるのはもちろん、生徒がうまく使えるようになると、学校教育の質も上がる。学校の特色として対外的に誇れるのではないか。
- ・ 教員がICTを上手く使えば使うほど、説明の時間が長くなりがちである。ICTを使って「短時間で」上手く説明を行い、生徒が考えて動く授業をつくる必要がある。
- ・ アナログに対して全てを否定しているわけではなく、ICTという道具に使われないように意識してほしい。

○ その他

- ・ 様々な取り組みをされる中でグローバル色が強まってきた印象である。
- ・ 教員が多忙であると言われている中で、これだけ新しいことに挑戦しているのはいいことである。
- ・ 生徒の笑顔があるから頑張れるという現職の感覚は、保護者としてとても嬉しい。

以上の提言やご意見に対して事務局からは以下の発言がありました。

- 1月開催の学校説明会については、意見を持ち帰って検討したい。現在は個別に対応しており、例年、1月以降、数組の案内・説明を実施している。
- 忙しいが、生徒の持つ夢にエネルギーをもらっている。今後は複数で研修に参加し、内容を還元したり、教科・分掌間のつながりを持たせたりすることで横の連携を強化していきたい。

最後に校長より「夕陽丘高校は、生徒・保護者・教職員・同窓会等、オール夕陽で様々な取組ができる恵まれた学校です。今後は、働き方改革を踏まえ、よりよい職場環境になるよう努めたい。」との話があり、閉会となりました。